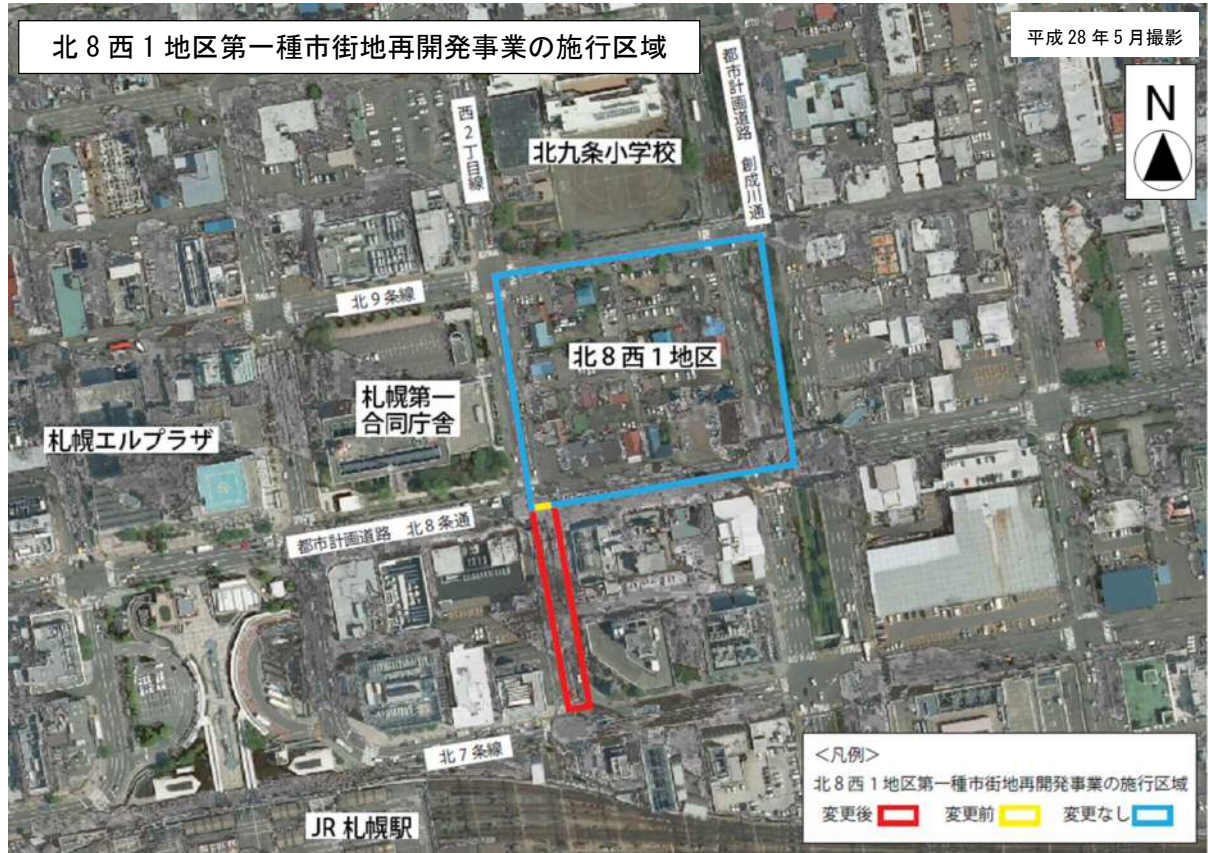


□ 北8西1地区関連



1 都市計画変更の内容

【北8西1地区第一種市街地再開発事業】

- ・ 施行区域の変更

【3号高速鉄道東豊線】

- ・ 区域の変更（さっぽろ駅）

2 都市計画の経緯

【北 8 西 1 地区第一種市街地再開発事業】

- ・北 8 西 1 地区では、昭和 58 年 1 月に札幌駅北口地区第一地区高度利用地区の都市計画決定以後、市街地再開発事業の実施を地権者が中心に検討してきた。
- ・平成 26 年 8 月に北 8 西 1 地区第一種市街地再開発事業の都市計画決定を行い、その後、事業への参画を予定していた医療系事業者の撤退に伴い、導入用途を見直し、平成 29 年 9 月に都市計画変更した。

【3号高速鉄道東豊線】

- ・3号高速鉄道東豊線は、昭和 58 年 4 月に現在の栄町駅から豊水すすきの駅までの延長約 8.9km を都市計画決定しており、その後、平成元年 7 月には、福住駅までの延伸の都市計画変更を行い、全 14 駅、延長約 14.5km の根幹的な公共交通機関となっている。

3 都市計画変更の理由

本市の最上位計画である「札幌市まちづくり戦略ビジョン」において、都心での歩行者の利便性を高めるために、まちづくりと連携した地下歩行ネットワークの拡大を検討することを掲げており、「第 2 次都心まちづくり計画」においては、市道「西 2 丁目線」を、札幌駅前通と共に地下空間の拡充による地上・地下の重層的な回遊ネットワークを形成するための南北方向の地下歩行ネットワークの路線として示している。

今回整備する地下通路は、3号高速鉄道東豊線さっぽろ駅のコンコースを延伸するものであり、四季を通じた安全で快適な地下歩行ネットワークが拡充されることにより、地下鉄や JR、バス等の公共交通機関へのアクセス性の向上が期待できる。

これらのまちづくりの上位計画や期待される整備効果を踏まえ、札幌駅北口 8・1 地区市街地再開発準備組合と共に、当該地下通路の整備手法を検討してきた結果、北 8 西 1 地区市街地再開発事業の公共貢献の一環として、官民連携により地下通路を整備することとした。

以上より、北 8 西 1 地区第一種市街地再開発事業の施行区域を当該地下通路を含む形状に変更するとともに、当該地下通路を 3号高速鉄道東豊線さっぽろ駅として位置付ける。

4 新設する地下通路の概要

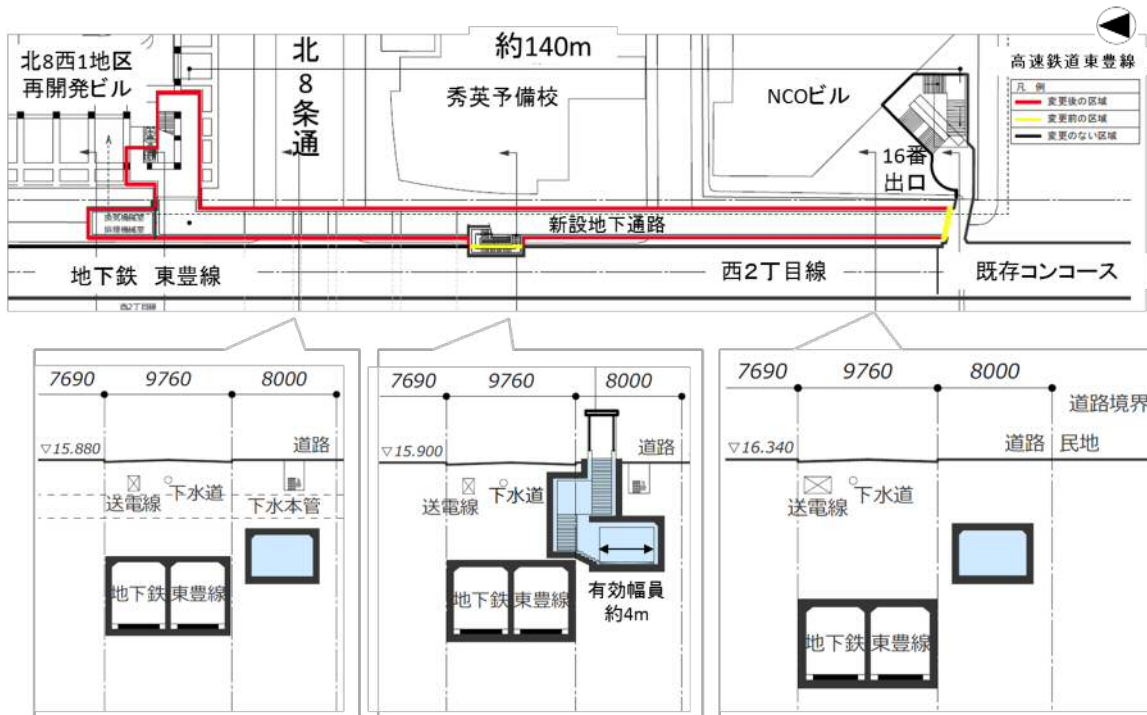
延 長：約 140m

幅 員：約 4m

出入口：2 か所

歩道上 1 か所（階段）

再開発ビル内 1 か所（階段及びエレベーター）



5 今後のスケジュール（予定）

- | | |
|------------------|------------------|
| ・2018年（平成30年）11月 | 都市計画審議会へ諮問 |
| ・2018年（平成30年）12月 | 都市計画変更告示 |
| ・2019年（平成31年）3月 | 市街地再開発組合設立 |
| ・2019年度 | 権利変換、解体工事、建築工事着手 |
| ・2021年度 | 地下通路工事着手 |
| ・2022年度 | 建築工事・地下通路工事 完了 |